



都営交通
TOEI TRANSPORTATION

2024 経営レポート

Management report



はじめに

東京都交通局は、2024年4月1日現在、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー及び発電の5事業※並びにこれらに関連する事業を運営しています。

経営に当たっては、東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関としての使命を果たすため、安全・安心の確保を最優先に、接遇の向上や快適な施設の整備に取り組む一方、コスト縮減や業務運営の効率化などにも努めています。

このレポートは、東京都交通局の経営状況等を簡潔にまとめ、お客様や都民の皆様の交通局事業に対する理解と信頼を得ることを目的として作成しています。

目次

1 都営交通について

P2～3 都営交通について

2 経営の状況

P4～5 事業別の状況

P6～7 財務指標（営業収益・経常損益）

P8～10 損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

P11 運輸成績表

P12～21 事業別参考資料
（都営地下鉄、都営バス、日暮里・舎人ライナー、
上野動物園モノレール、関連事業）

3 経営指標比較

P22～23 比較対象団体、使用する指標

P24～25 高速電車事業／都営地下鉄

P26～27 自動車運送事業／都営バス

P28～29 軌道事業／東京さくらトラム（都電荒川線）

P30～31 新交通事業／日暮里・舎人ライナー

P32～33 電気事業／発電

（補足説明） 数値については、原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

金額については、原則として、税抜きで表示しています。

一日平均は、営業日数で除したものです。（2023年度営業日数 366日）

※上野動物園モノレールは、2019年11月1日から運行休止、2023年12月27日に廃止

報告対象期間は、

2 経営の状況：2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）、

3 経営指標比較：2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）です。

ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。

1 都営交通について

経営理念

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、支持される公共交通機関として、安全・安心を何よりも大切にし、東京の都市活動や都民生活を支えていきます。

経営方針	主な計画事業（2022年度-2024年度）
都民やお客様の信頼に応えるため、安全・安心を最優先し、全職員が一丸となって、災害に強く、事故のない都営交通を実現します。	<ul style="list-style-type: none">○安全対策の強化○災害対策等の強化○安定的な輸送を支える基盤整備○安定的な電力供給を支える基盤整備
お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現します。	<ul style="list-style-type: none">○輸送需要への的確な対応○公共交通ネットワークの利便性向上○便利で快適な移動空間の創出○お客様のニーズに応えたサービスの展開○サービス品質の持続的向上
首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現します。	<ul style="list-style-type: none">○まちづくりとの連携○沿線地域との連携○持続可能な社会の実現への貢献○福祉施策への貢献○都政情報などの発信等への協力
事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に持続可能な事業運営を行っていくための経営基盤を確立します。	<ul style="list-style-type: none">○関連事業の強化○事業運営を支える人材の確保と育成○全ての職員が活躍できる職場環境づくり○事業運営を支える執行体制の構築○経営改善に向けた取組

東京都交通局経営計画について

東京都交通局経営計画及び進捗状況について、交通局ホームページで公表しています。

東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 経営計画
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/>



交通局は以下の三つの会計を設け、地方公営企業法に基づいてそれぞれの事業を経理しています。

◆高速電車事業会計
・ 都営地下鉄

◆交通事業会計
・ 都営バス
・ 東京さくらトラム
（都電荒川線）
・ 日暮里・舎人ライナー
・ 上野動物園モノレール*1

◆電気事業会計
・ 発電

主要数値（2023年度）

乗車人員（4事業合計*2）

11.8 億人
対前年度 +1億人

営業収益

1,908 億円
対前年度 +176億円

経常損益

196 億円
対前年度 +217億円

職員数（2024年3月31日）

6,567 名

<内訳>

事務	1,340名
技術	767名
運転	2,807名
地下鉄車掌	284名
鉄道営業	648名
交通技能	633名
その他	88名

*1 2019年11月1日から運行休止、2023年12月27日廃止

*2 都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの4事業を指す。



2 経営の状況
事業別の状況

2 経営の状況

以降のページでは、交通局の経営状況を客観的に評価するため、決算の数値に基づいて、財務に関する主要な指標を算定しました。

また、地下鉄路線別収支など、事業別の資料についても掲載しました。

2023年度事業別主要数値(対前年度比)

		都営地下鉄	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)
				
乗車人員	年間 (万人)	91,074 (11.3% ↑)	22,170 (5.9% ↑)	1,809 (6.5% ↑)
	一日平均 (万人)	248.8 (11.0% ↑)	60.6 (5.6% ↑)	4.9 (6.2% ↑)
乗車料収入	年間 (億円)	1,300 (12.2% ↑)	363 (6.1% ↑)	23 (6.4% ↑)
	一日平均 (万円)	35,507 (11.9% ↑)	9,909 (5.8% ↑)	620 (6.1% ↑)
経常損益 (億円)		180.1 (184.6億円 ↑)	16.3 (34.0億円 ↑)	1.7 (0.1億円 ↑)
未処分利益剰余金 <△累積欠損金> (億円)		△1,971.6 (180.1億円 ↑)	△116.9 (16.0億円 ↑)	△9.4 (4.8億円 ↑)

2 経営の状況
事業別の状況

		日暮里・舎人 ライナー	上野動物園 モノレール <small>※2019年11月1日から運行休止 ※2023年12月27日に廃止</small>	発電
(販売電力量) 乗車人員	年間 (万人・MWh)	3,295 (7.1% ↗)	— (—)	89,356 (6.4% ↘)
	一日平均 (万人・kWh)	9.0 (6.8% ↗)	— (—)	244,141 (6.6% ↘)
(電力料収入) 乗車料収入	年間 (億円)	58 (6.8% ↗)	— (—)	9.0 (6.4% ↘)
	一日平均 (万円)	1,598 (6.5% ↗)	— (—)	247 (6.6% ↘)
経常損益 (億円)		△0.9 (1.3億円 ↗)	— (—)	△1.0 (2.8億円 ↘)
未処分利益剰余金 <△累積欠損金> (億円)		△189.0 (0.9億円 ↘)	— (3.1億円 ↘)	0.3 (1.4億円 ↘)

2023年度決算情報について

2023年度決算の詳細については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 決算
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/>



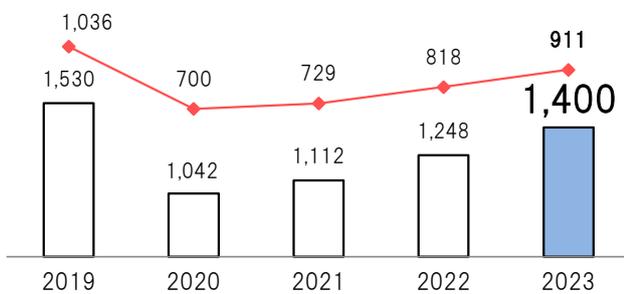
2 経営の状況
財務指標（営業収益）

営業収益（2019年度－2023年度）

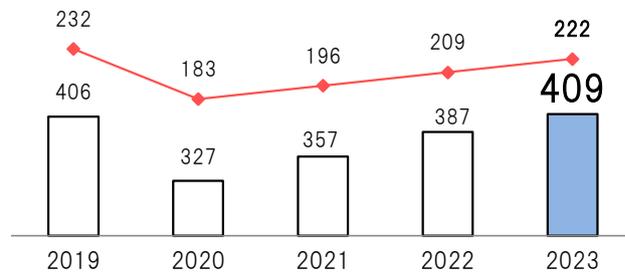
売上に相当し、乗車料、電力料、関連事業収入などが含まれます。

○ 2023年度は、乗車人員の増加などにより、全事業合計の営業収益は1,907億9千8百万円となり、前年度から10.2%増加しました。

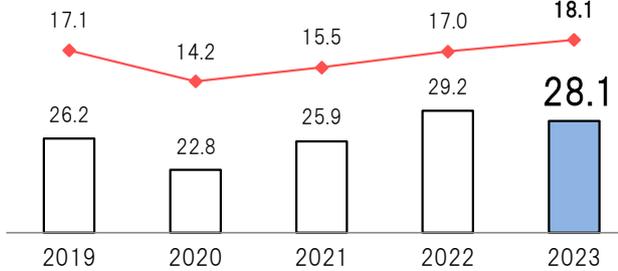
都営地下鉄



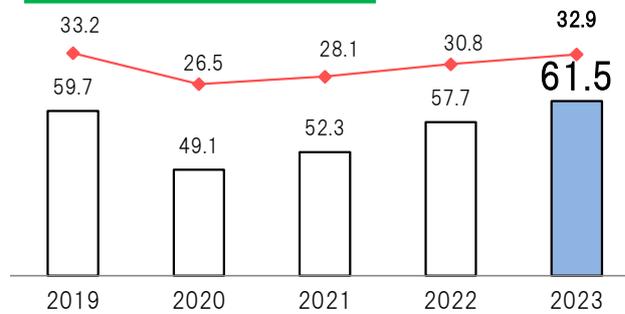
都営バス



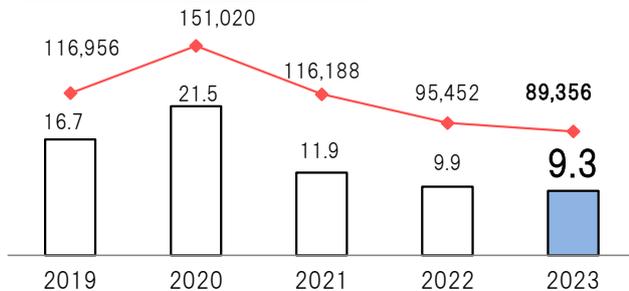
東京さくらトラム
(都電荒川線)



日暮里・舎人ライナー



発電



【凡例】

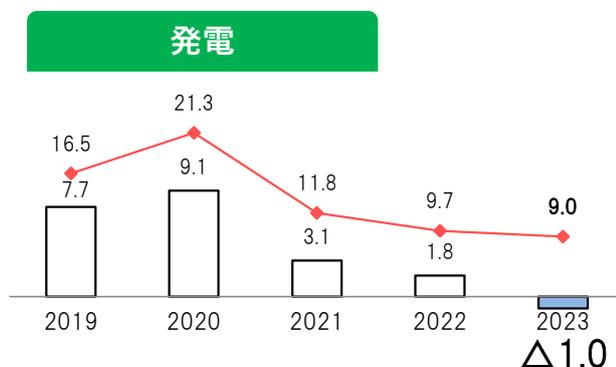
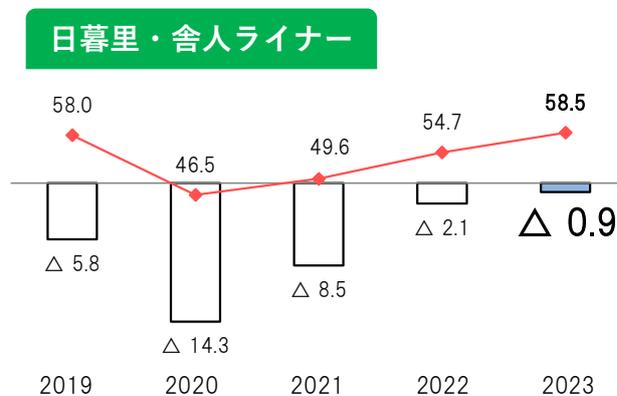
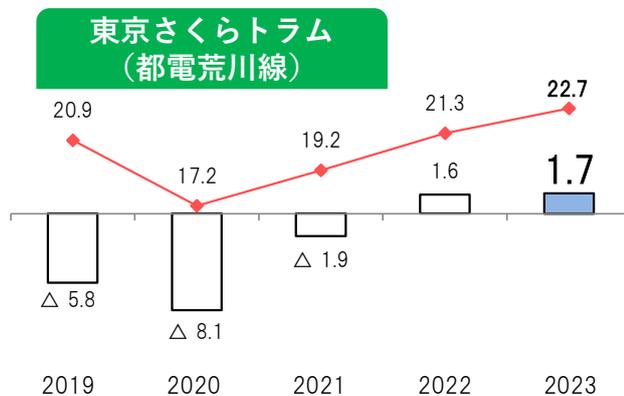
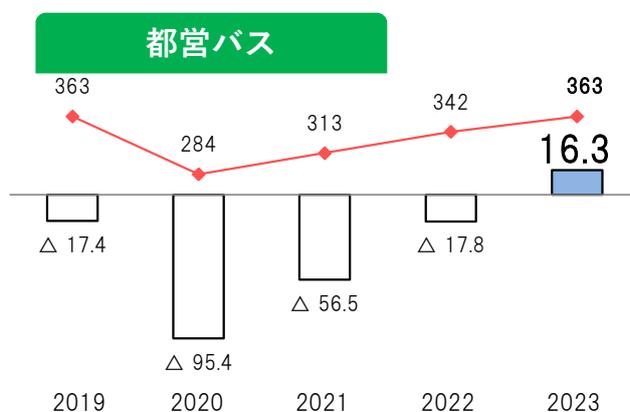
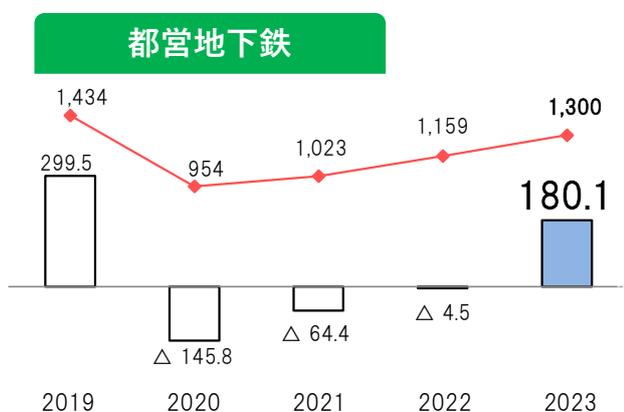
- 営業収益(億円/年)
- ◆ 乗車人員(百万人/年)
- < 販売電力量(MWh/年) >

2 経営の状況
財務指標（経常損益）

経常損益（2019年度－2023年度）

企業が日常的に行っている業務の中で計上した損益で、本業の損益に補助金による収入や企業債利息の支出等を加えたものです。

○ 2023年度は、乗車料収入の増加などにより、全事業合計の経常損益は196億2千百万円の黒字となり、前年度から217億2千4百万円改善しました。



【凡例】

□ 経常損益(億円/年)

◆ 乗車料収入(億円/年)

< 電力料収入(億円/年) >

2 経営の状況
損益計算書

損益計算書 (2023年度)

(単位：百万円)

	交通事業会計					高速電車事業会計	電気事業会計	合計
	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)	日暮里・舎人ライナー	モノレール	計	都営地下鉄	発電	
収入								
営業収益 ※1	40,932	2,811	6,153	-	49,896	139,975	926	190,798
営業外収益 ※2	1,873	814	1,237	-	3,924	17,123	27	21,075
特別利益 ※3	-	-	-	-	-	-	76	76
支出								
営業費用 ※4	40,791	2,669	6,078	-	49,537	135,957	1,057	186,551
営業外費用 ※5	389	785	1,398	-	2,573	3,128	0	5,700
特別損失 ※6	22	-	-	-	22	-	12	34
損益								
営業損益 ※7	142	142	76	-	359	4,019	△ 131	4,247
経常損益 ※8	1,626	170	△ 85	-	1,711	18,014	△ 104	19,621
純損益 ※9	1,604	170	△ 85	-	1,689	18,014	△ 39	19,664
当年度末未処分利益剰余金	△ 11,687	△ 940	△ 18,905	-	△ 31,532	△ 197,161	31	△ 228,662

※1 営業収益

乗車料収入（電力料収入）や広告料収入など、営業活動から生じる収益

※2 営業外収益

預金利息や株式配当金、受託工事収入、補助金など、営業活動以外から生じる収益

※3 特別利益

固定資産売却益や過年度損益修正益など、経常的に発生しない臨時的な利益

※4 営業費用

物件費や減価償却費など、営業活動に要する費用

※5 営業外費用

企業債利息や受託工事費など、営業活動以外の活動に要する費用

※6 特別損失

固定資産売却損や過年度損益修正損など、経常的に発生しない臨時的な損失

※7 営業損益

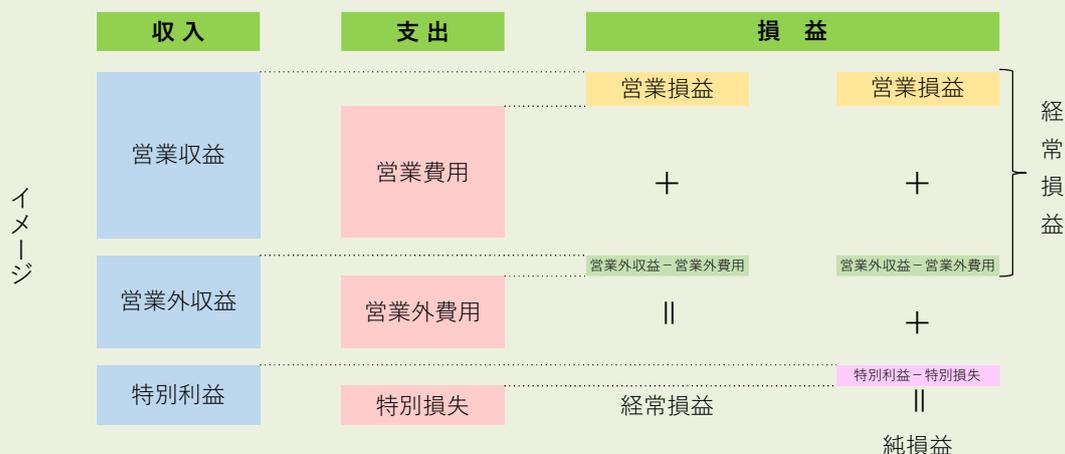
営業収益 - 営業費用

※8 経常損益

営業損益 + 営業外収益 - 営業外費用

※9 純損益

経常損益 + 特別利益 - 特別損失

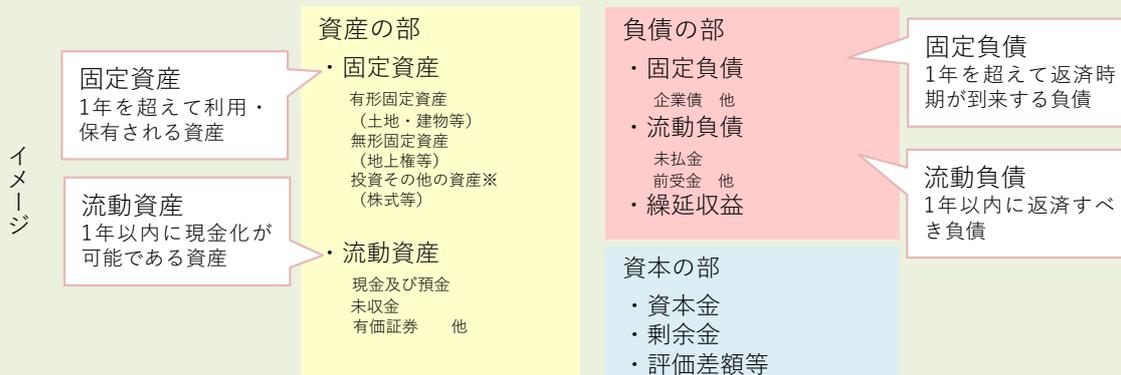


貸借対照表 (2023年度)

(単位：百万円)

高速電車事業会計	交通事業会計	電気事業会計																							
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">固定資産 1,305,106</td> <td>固定負債 615,302</td> </tr> <tr> <td>流動負債 69,077</td> </tr> <tr> <td>繰延収益 377,581</td> </tr> <tr> <td>資本金 514,091</td> </tr> <tr> <td>流動資産 173,399</td> <td>剰余金 △ 97,546</td> </tr> </table>	固定資産 1,305,106	固定負債 615,302	流動負債 69,077	繰延収益 377,581	資本金 514,091	流動資産 173,399	剰余金 △ 97,546	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">固定資産 206,230</td> <td>固定負債 77,606</td> </tr> <tr> <td>流動負債 17,944</td> </tr> <tr> <td>繰延収益 1,352</td> </tr> <tr> <td>資本金 55,577</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">流動資産 35,223</td> <td>剰余金 65,641</td> </tr> <tr> <td>評価差額等 23,333</td> </tr> </table>	固定資産 206,230	固定負債 77,606	流動負債 17,944	繰延収益 1,352	資本金 55,577	流動資産 35,223	剰余金 65,641	評価差額等 23,333	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">固定資産 3,704</td> <td>固定負債 149</td> </tr> <tr> <td>流動負債 415</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">流動資産 7,653</td> <td>繰延収益 501</td> </tr> <tr> <td>資本金 2,961</td> </tr> <tr> <td>剰余金 7,332</td> </tr> <tr> <td>評価差額等</td> </tr> </table>	固定資産 3,704	固定負債 149	流動負債 415	流動資産 7,653	繰延収益 501	資本金 2,961	剰余金 7,332	評価差額等
固定資産 1,305,106		固定負債 615,302																							
		流動負債 69,077																							
		繰延収益 377,581																							
	資本金 514,091																								
流動資産 173,399	剰余金 △ 97,546																								
固定資産 206,230	固定負債 77,606																								
	流動負債 17,944																								
	繰延収益 1,352																								
	資本金 55,577																								
流動資産 35,223	剰余金 65,641																								
	評価差額等 23,333																								
固定資産 3,704	固定負債 149																								
	流動負債 415																								
流動資産 7,653	繰延収益 501																								
	資本金 2,961																								
	剰余金 7,332																								
	評価差額等																								

貸借対照表は、企業のある時点における資産・負債・資本を記載し、企業の財政状態を表したものです。左側が事業の財産（資産）を表し、右側が財産を得るための資金を表します。



※電気事業会計において、貸倒引当金を計上しています。

貸倒引当金の計上方法：

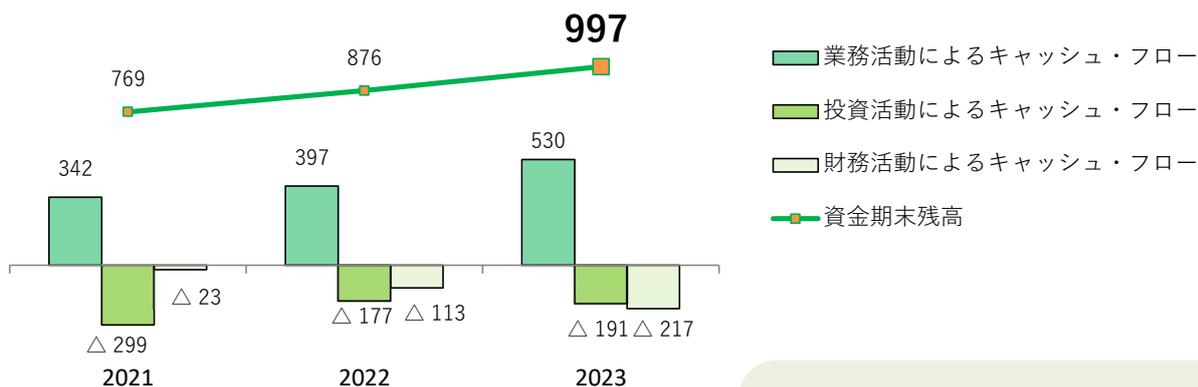
債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上しています。

2 経営の状況
キャッシュ・フロー計算書

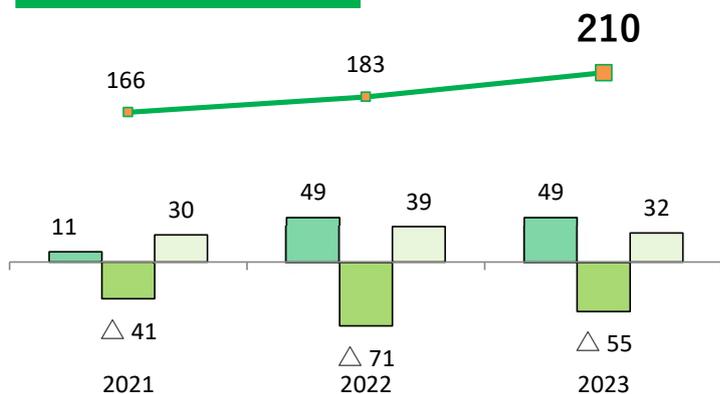
キャッシュ・フロー計算書 (2021-2023年度)

高速電車事業会計

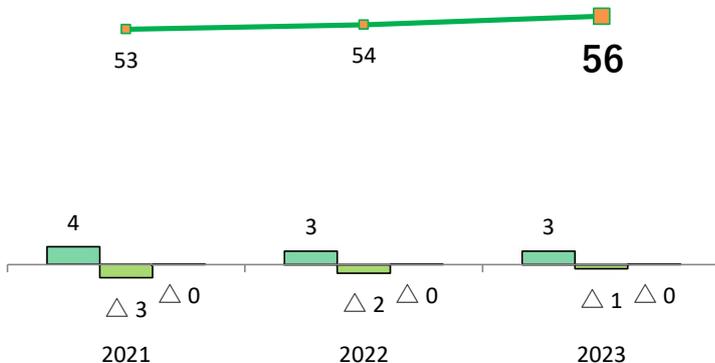
(単位：億円)



交通事業会計



電気事業会計



キャッシュ・フロー計算書は、一事業年度における現預金の動きを、活動区分別に表示したものです。

業務活動によるキャッシュ・フロー
通常の業務活動の実施による資金の収支や投資活動、財務活動以外の収支を表します。

投資活動によるキャッシュ・フロー
通常の業務活動の基礎となる固定資産の取得及び売却の収支を表します。

財務活動によるキャッシュ・フロー
増資、減資による収支や資金調達、返済に関する収支を表します。

2 経営の状況
運輸成績表

運輸成績表 (2023年度)

事業名	車両数 期末 (両)	走行キロ 年間 (千km)	乗車人員		乗車料収入	
			年間 (億人)	一日平均 (万人)	年間 (億円)	一日平均 (万円)
都 営 地 下 鉄	1,216	126,695	9.1	248.8	1,300	35,507
浅 草 線	216	21,812	2.5	68.3	296	8,100
三 田 線	248	25,627	2.2	60.7	285	7,793
新 宿 線	280	32,275	2.6	70.4	342	9,337
大 江 戸 線	472	46,980	3.1	83.6	376	10,276
都 営 バ ス	1,453	43,175	2.2	60.6	363	9,909
乗 合	1,448	43,028	2.2	60.5	361	9,866
貸 切	5	147	0.002	0.05	2	43
東京さくらトラム (都電荒川線)	33	1,487	0.2	4.9	23	620
日暮里・舎人 ライナー	100	8,145	0.3	9.0	58	1,598
上野動物園 モノレール	—	—	—	—	—	—
合 計	2,802	—	11.8	323.4	1,743	47,634
発 電	水力発電所 (3か所) 多摩川第一発電所 認可最大出力/19,000kW 多摩川第三発電所 認可最大出力/16,400kW 白丸発電所 認可最大出力/ 1,100kW				販売電力量 89,356MWh 電力料収入 904百万円	

(注)

- 1 都営地下鉄の乗車人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の乗車人員の単純合計ではありません。
- 2 上野動物園モノレールは、2019年11月1日から運行を休止、2023年12月27日をもって廃止しました。

地下鉄路線別収支状況・駅別一日平均乗降人員（2023年度）

A 浅草線

乗車人員	68 万人／日
乗車料収入	0.8 億円／日
収益の収入	328 億円
収益の支出	241 億円
損益額	87 億円
営業係数	74

I 三田線

乗車人員	61 万人／日
乗車料収入	0.8 億円／日
収益の収入	333 億円
収益の支出	270 億円
損益額	63 億円
営業係数	81

路線別収支

(単位：人・%)

順位	駅名	2023年度	前年比
1	日本橋	87,756	12.3
2	新橋	83,515	17.0
3	東銀座	79,058	16.8
4	東日本橋	75,870	11.7
5	押上	58,002	19.0
6	浅草橋	57,015	12.2
7	五反田	56,569	7.4
8	浅草	56,120	22.1
9	人形町	51,427	13.9
10	三田	45,208	16.4
11	大門	43,906	15.3
12	西馬込	42,045	7.0
13	蔵前	39,247	17.0
14	泉岳寺	30,566	16.7
15	宝町	28,494	13.5
16	中延	26,456	8.4
17	馬込	25,129	6.8
18	本所吾妻橋	20,350	15.9
19	戸越	20,035	9.5
20	高輪台	13,185	8.9

(単位：人・%)

順位	駅名	2023年度	前年比
1	大手町	100,353	13.2
2	巢鴨	85,434	4.1
3	日比谷	80,027	11.9
4	神保町	59,548	12.5
5	白山	45,428	6.5
6	水道橋	44,674	11.9
7	三田	41,736	17.2
8	御成門	40,727	6.6
9	春日	35,466	12.1
10	板橋本町	35,317	8.2
11	内幸町	35,015	17.3
12	板橋区役所前	33,494	7.1
13	千石	30,408	8.1
14	志村三丁目	29,443	5.1
15	志村坂上	28,843	6.6
16	西巢鴨	28,375	7.2
17	新板橋	28,249	7.6
18	高島平	26,750	6.2
19	芝公園	26,663	14.5
20	西台	24,284	7.2
21	本蓮沼	23,943	7.0
22	白金高輪	23,526	14.6
23	目黒	22,169	17.3
24	蓮根	18,624	5.6
25	西高島平	12,229	4.6
26	白金台	9,663	10.7
27	新高島平	9,044	4.7

駅別一日平均乗降人員

2 経営の状況 事業別参考資料 都営地下鉄

S 新宿線

乗車人員	70 万人/日
乗車料収入	0.9 億円/日
収益的収入	378 億円
収益的支出	315 億円
損益額	62 億円
営業係数	83

(単位：人・%)

順位	駅名	2023年度	前年比
1	馬喰横山	106,131	10.3
2	九段下	104,820	9.9
3	新宿	93,019	10.1
4	市ヶ谷	85,603	9.6
5	本八幡	69,549	5.4
6	小川町	69,171	10.8
7	新宿三丁目	68,174	11.5
8	船堀	56,792	5.2
9	瑞江	52,849	5.7
10	岩本町	49,899	8.5
11	神保町	44,619	6.9
12	一之江	41,531	5.5
13	住吉	39,815	7.5
14	篠崎	38,263	5.2
15	曙橋	35,291	4.2
16	大島	30,671	6.4
17	東大島	29,477	6.8
18	西大島	26,736	7.5
19	菊川	23,140	9.4
20	森下	22,475	9.4
21	浜町	20,676	11.0

E 大江戸線

乗車人員	84 万人/日
乗車料収入	1.0 億円/日
収益的収入	533 億円
収益的支出	565 億円
損益額	△32 億円
営業係数	106

(単位：人・%)

順位	駅名	2023年度	前年比
1	勝どき	81,077	8.4
2	六本木	79,608	12.4
3	門前仲町	75,746	10.4
4	練馬	74,420	7.1
5	新宿	72,255	12.7
6	月島	65,675	11.3
7	青山一丁目	64,794	15.8
8	大門	56,589	12.8
9	光が丘	54,950	4.0
10	新御徒町	54,204	12.3
11	上野御徒町	52,906	12.1
12	新宿西口	51,581	10.3
13	都庁前	46,002	15.1
14	清澄白河	38,213	9.7
15	中野坂上	38,114	9.3
16	東新宿	35,979	14.5
17	夕留	34,991	28.6
18	赤羽橋	34,237	14.5
19	蔵前	34,226	15.7

順位	駅名	2023年度	前年比
20	両国	32,005	12.7
21	西新宿五丁目	31,076	13.7
22	代々木	30,760	11.3
23	麻布十番	30,698	9.3
24	若松河田	27,802	4.7
25	新江古田	27,685	6.1
26	飯田橋	27,039	9.3
27	落合南長崎	25,931	5.8
28	春日	25,611	9.6
29	東中野	24,189	5.9
30	中井	23,955	8.0
31	築地市場	23,148	18.0
32	練馬春日町	21,703	5.0
33	本郷三丁目	20,607	12.1
34	牛込柳町	19,728	4.8
35	森下	14,032	9.9
36	豊島園	13,526	39.5
37	牛込神楽坂	13,232	6.4
38	国立競技場	12,767	22.5

(注)

- 2023年度決算値をもとに推計しています。
- 収入及び支出は、全体の金額を営業キロ等で各路線に配分しています。
- 乗車人員は、乗車券の発売等のデータをもとに推計しています。
- 営業係数は、その路線が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値です。
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字です。
- 推計方法の見直し等により、今後、数値が改定される場合があります。

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

バス系統別収支状況 (2023年度)

	系統番号	区 間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数
			(人/日)	(千円/日)	(千円)	
1	都07	錦糸町駅前～門前仲町	20,918	3,207	331,355	75
2	東22	錦糸町駅前～東京駅丸の内北口	17,422	2,777	319,594	72
3	新小21	西葛西駅前～新小岩駅前	13,719	2,161	219,186	75
4	品99	品川駅港南口～(品川埠頭循環)～品川駅港南口	9,128	1,587	213,278	67
5	都02	大塚駅前～錦糸町駅前	19,927	3,228	209,409	85
6	錦25	葛西駅前～錦糸町駅前	15,959	2,451	202,091	80
7	北47	足立清掃工場前～北千住駅前	10,179	1,694	181,108	74
8	上58	早稲田～上野松坂屋前	10,852	1,738	152,881	79
9	王57	赤羽駅東口～豊島五丁目団地	9,936	1,601	149,073	78
10	上69	小滝橋車庫前～(上野公園循環)～小滝橋車庫前	7,172	1,192	130,609	73
11	王40	池袋駅東口～西新井駅前	20,793	3,394	121,974	91
12	草63	池袋駅東口～浅草寿町(往路)、雷門一丁目(復路)	12,149	1,979	121,407	85
13	都05	晴海埠頭～東京駅丸の内南口	14,818	2,600	120,511	89
14	白61	練馬車庫前～新宿駅西口	13,233	2,253	117,659	88
15	都08	日暮里駅前～錦糸町駅前	10,926	1,751	108,221	85
16	田87	渋谷駅前～田町駅前	9,985	1,710	107,964	85
17	東16	東京駅八重洲口～東京ビッグサイト	9,755	1,709	100,016	86
18	新小22	葛西駅前～新小岩駅前	8,620	1,351	88,073	84
19	葛西21	葛西駅前～葛西臨海公園駅前	6,980	1,117	87,012	81
20	東42	南千住車庫前～東京駅八重洲口	8,793	1,436	65,011	89
21	門33	亀戸駅前～豊海水産埠頭	7,834	1,216	62,818	88
22	上46	南千住駅東口～上野松坂屋前	6,969	1,102	61,805	87
23	池65	練馬車庫前～池袋駅東口	5,331	896	61,123	84
24	飯64	小滝橋車庫前～(九段下循環)～小滝橋車庫前	4,978	840	56,818	84
25	池86	池袋駅東口～(渋谷駅東口循環)～池袋駅東口	8,015	1,298	54,405	90

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

	系統番号	区 間	乗車人員 (人/日)	乗車料収入 (千円/日)	損益額 (千円)	営業係数
26	業10	新橋～とうきょうスカイツリー駅前	14,709	2,382	44,113	96
27	臨海28	一之江橋西詰～葛西臨海公園駅前	9,018	1,472	41,615	93
28	王55	王子駅前～新田一丁目	6,743	1,096	40,027	91
29	里22	日暮里駅前～亀戸駅前	7,140	1,115	38,605	92
30	学06	恵比寿駅前～日赤医療センター前	3,186	466	33,798	83
31	西葛20	西葛西駅前～なぎさニュータウン	5,928	950	30,100	93
32	端44	北千住駅前～駒込病院前	5,559	919	26,835	93
33	草41	足立梅田町～浅草寿町	5,429	867	24,441	93
34	亀21	東陽町駅前～亀戸駅前	4,893	749	22,147	93
35	錦18	錦糸町駅前～新木場駅前	3,555	573	20,975	87
36	西葛27	西葛西駅前～臨海町二丁目団地前	3,720	584	19,232	92
37	新小29	葛西駅前～東新小岩四丁目	5,377	856	16,246	96
38	亀29	なぎさニュータウン～亀戸駅前	6,441	972	14,655	96
39	葛西24	船堀駅前～なぎさニュータウン	4,039	633	11,312	96
40	井92	大井町駅東口～(八潮パークタウン循環)～大井町駅東口	4,238	693	11,093	96
41	都06	渋谷駅前～新橋駅前	9,408	1,634	7,575	99
42	王45	王子駅前～北千住駅前	1,810	299	4,196	97
43	錦28	東大島駅前～錦糸町駅前	4,288	673	3,510	99
44	学02	高田馬場駅前～早大正門	3,127	496	1,929	99
45	秋26	葛西駅前～秋葉原駅前	5,693	893	983	100
46	都04	豊海水産埠頭～東京駅丸の内南口	6,381	1,109	755	100
47	錦22	臨海車庫～錦糸町駅前	811	127	430	99
48	草39	金町駅前～上野松坂屋前	5,220	831	50	100
49	東15	深川車庫前～東京駅八重洲口	3,223	550	△ 692	100
50	平28	東大島駅前～(平井駅前循環)～東大島駅前	1,465	232	△ 773	101

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

	系統番号	区 間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数
			(人/日)	(千円/日)	(千円)	
51	F L 0 1	葛西駅前～錦糸町駅前	1,047	158	△ 1,317	106
52	直行 0 2	豊海水産埠頭～東京駅八重洲口	43	7	△ 2,153	187
53	品 9 6	品川駅港南口～りんかい線天王洲アイル駅前	2,341	433	△ 3,926	102
54	草 6 4	池袋駅東口～浅草雷門南	6,580	1,061	△ 4,199	101
55	早 7 7	早稲田～新宿駅西口	2,620	435	△ 6,189	103
56	飯 6 2	小滝橋車庫前～都営飯田橋駅前	324	52	△ 6,689	128
57	亀 2 3	亀戸駅前～(江東高齢者医療センター循環)～亀戸駅前	1,953	307	△ 7,707	106
58	錦 2 7	小岩駅前～両国駅前	5,088	797	△ 8,343	102
59	豊洲 0 1	豊洲駅前～(豊洲一丁目・豊洲駅前・キャナルコート循環)～豊洲駅前	708	122	△ 8,385	123
60	急行 0 5	錦糸町駅前～日本科学未来館	3,864	647	△ 8,451	109
61	亀 2 6	今井～亀戸駅前	2,905	442	△ 9,532	105
62	田 9 2	品川駅港南口～田町駅東口	662	115	△ 9,929	124
63	上 0 1	東大構内～(上野公園山下循環)～東大構内	877	156	△ 10,145	115
64	臨海 2 2	臨海車庫～船堀駅前	493	76	△ 10,427	130
65	亀 2 4	葛西橋～亀戸駅前	4,148	633	△ 10,798	104
66	練 6 8	練馬駅～目白駅	139	23	△ 11,077	231
67	陽 2 0	東陽町駅前～東大島駅前	621	95	△ 11,878	128
68	C・H 0 1	新宿駅西口～(都庁第一本庁舎循環)～新宿駅西口	390	69	△ 11,999	139
69	品 9 3	大井競馬場前～目黒駅前	8,151	1,393	△ 12,393	102
70	錦 4 0	南千住駅東口～錦糸町駅前	694	110	△ 13,111	126
71	反 9 4	五反田駅～赤羽橋駅前	179	31	△ 13,590	184
72	錦 3 7	青戸車庫前～錦糸町駅前	4,172	659	△ 13,916	105
73	品 9 1	品川駅港南口～(八潮パークタウン循環)～品川駅港南口	3,789	643	△ 14,342	105
74	新小 2 0	東新小岩四丁目～一之江駅前	542	90	△ 14,720	135
75	田 9 9	品川駅港南口～田町駅東口	173	29	△ 15,290	201

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

	系統番号	区 間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数
			(人/日)	(千円/日)	(千円)	
76	茶5 1	駒込駅南口～秋葉原駅前	2,190	374	△ 15,339	109
77	東4 3	荒川土手操車所前～東京駅丸の内北口	7,556	1,234	△ 16,483	103
78	西葛2 6	船堀駅前～葛西臨海公園駅前	695	109	△ 16,797	134
79	井9 8	大井町駅東口～大井水産物埠頭前	964	177	△ 17,571	127
80	学0 5	目白駅前～（日本女子大循環）～目白駅前	2,100	261	△ 18,373	122
81	茶0 7	東大構内～（御茶ノ水駅前循環）～東大構内	792	150	△ 18,865	128
82	井9 6	大井町駅東口～（天洲アイランド循環）～大井町駅東口	508	86	△ 19,127	147
83	王4 1	王子駅前～新田一丁目	2,813	455	△ 19,330	110
84	上6 0	池袋駅東口～上野公園	1,570	262	△ 19,728	117
85	渋6 6	阿佐ヶ谷駅前～渋谷駅前	2,903	504	△ 20,345	109
86	船2 8	船堀駅前～篠崎駅前	424	66	△ 21,260	167
87	王7 8	新宿駅西口～王子駅前	5,195	861	△ 21,619	106
88	草4 3	足立区役所～浅草雷門	2,091	327	△ 23,553	116
89	錦1 1	錦糸町駅前～築地駅前	1,746	287	△ 24,004	119
90	草2 4	東大島駅前～浅草寿町	1,695	262	△ 26,806	123
91	都0 1	渋谷駅前～新橋駅前	10,159	1,831	△ 28,945	103
92	宿9 1	新代田駅前～新宿駅西口	2,654	447	△ 29,429	115
93	橋6 3	小滝橋車庫前～新橋駅前	3,213	534	△ 29,747	113
94	両2 8	葛西橋～両国駅前	2,721	422	△ 30,526	116
95	葛西2 2	葛西駅前～一之江駅前	896	140	△ 30,842	147
96	R H 0 1	渋谷駅前～六本木ヒルズ	1,413	263	△ 31,311	126
97	錦1 3	錦糸町駅前～晴海埠頭	8,788	1,398	△ 31,980	105
98	黒7 7	目黒駅前～千駄ヶ谷駅前	2,568	437	△ 35,016	118
99	上2 6	亀戸駅前～上野公園	1,803	286	△ 35,662	128
100	上2 3	平井駅前～上野松坂屋前	4,989	783	△ 36,386	111

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

	系統番号	区 間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数
			(人/日)	(千円/日)	(千円)	
101	学03	渋谷駅前～日赤医療センター前	5,590	796	△ 37,350	111
102	平23	葛西駅前～平井駅前	1,945	299	△ 38,320	128
103	門19	深川車庫前～門前仲町	2,426	396	△ 38,626	122
104	品97	品川駅高輪口～新宿駅西口	5,568	930	△ 38,946	109
105	高71	高田馬場駅前～九段下	1,591	263	△ 39,878	133
106	梅77	裏宿町～河辺駅北口	906	152	△ 40,324	156
107	宿74	新宿駅西口～東京女子医大前	1,417	236	△ 40,486	136
108	浜95	品川車庫前～東京タワー	704	120	△ 40,604	168
109	門21	東大島駅前～門前仲町	2,098	321	△ 43,115	130
110	波01	東京テレポート駅前～中央防波堤	1,062	178	△ 43,329	152
111	梅76	裏宿町～上成木	1,679	228	△ 45,759	143
112	木11	木場駅前～(東京へび道・新木場三丁目循環)～東陽町駅前	5,529	944	△ 48,293	112
113	都03	晴海埠頭～四谷駅	962	166	△ 50,728	163
114	梅74	裏宿町～(成木循環)～裏宿町	633	91	△ 50,972	206
115	市01	新橋駅前～豊洲市場	2,129	373	△ 51,938	137
116	渋88	渋谷駅前～新橋駅前	1,620	284	△ 52,094	139
117	反96	五反田駅～六本木ヒルズ	3,229	559	△ 55,155	122
118	宿75	新宿駅西口～三宅坂	909	153	△ 56,190	171
119	王49	千住車庫前～王子駅前	5,134	829	△ 59,123	117
120	早81	早大正門～(渋谷駅東口循環)～早大正門	1,265	214	△ 60,979	158
121	海01	門前仲町～東京テレポート駅前	10,549	1,673	△ 62,977	109
122	陽12	東陽町駅前～昭和大学江東豊洲病院前	3,233	500	△ 74,013	146
123	橋86	目黒駅前～新橋駅前	1,488	248	△ 76,448	163
124	品98	品川駅港南口～大田市場	3,560	646	△ 93,056	132
125	里48	日暮里駅前～見沼代親水公園駅前	757	126	△ 123,102	263
126	梅70	青梅車庫前～花小金井駅北口	2,719	524	△ 184,667	174

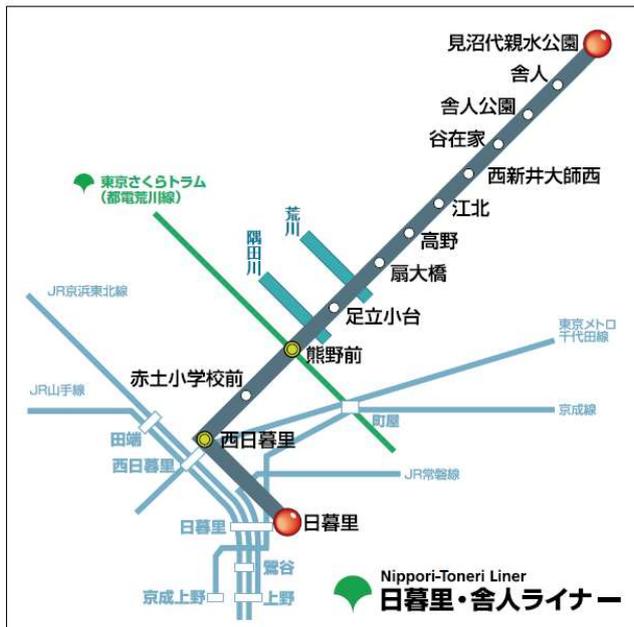
(注)

- 1 全系統を損益額順に並べています。
- 2 運行受託路線は除きます。
- 3 2023年度決算値をもとに推計しています。
- 4 収入は、全体の金額を乗車人員等で各系統に配分しています。
支出は、全体の金額を年間の走行距離等で各系統に配分しています。
- 5 乗車人員は、ICカードの実績等のデータをもとに推計しています。
- 6 営業係数は、その系統が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値です。
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字です。

2 経営の状況

事業別参考資料 日暮里・舎人ライナー・上野動物園モノレール

日暮里・舎人ライナー駅別一日平均乗降人員 (2023年度)



(単位：人・%)

駅名	2023年度	前年比
日暮里	52,085	7.9
西日暮里	31,946	6.1
見沼代親水公園	13,251	8.1
江北	12,626	4.3
西新井大師西	11,848	6.1
谷在家	10,579	7.3
扇大橋	9,913	6.7
舎人	9,145	7.8
熊野前	8,715	5.5
高野	6,208	4.9
赤土小学校前	5,317	5.2
舎人公園	4,819	8.4
足立小台	3,596	5.0

上野動物園モノレールについて

上野動物園の東園と西園を結ぶモノレールは、将来の新しい都市交通機関として実験的に建設した我が国で最初のモノレールです。

この路線は、動物園の遊戯施設ではなく、鉄道事業法に基づく交通機関です。

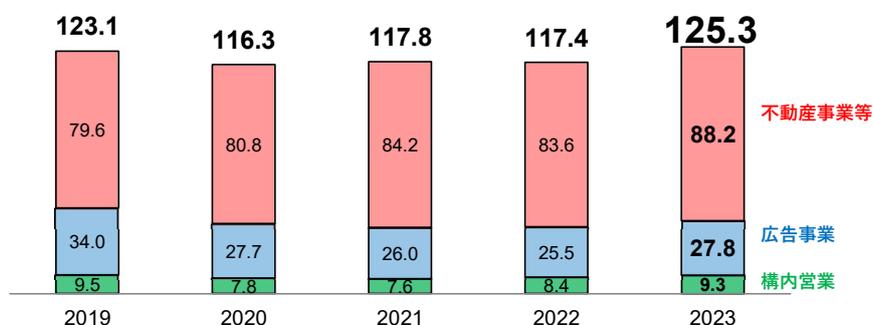
1957年の開業以来、交通局の施設として運営してきました。2000年に上野動物園を所管する東京都建設局に施設を無償で譲渡し、交通局がその施設を用いて運行を行ってきましたが、2023年12月27日をもって廃止しました。(2019年11月1日から運行休止)

関連事業について

関連事業とは、都営地下鉄、都営バス等の本来事業の経営基盤の強化に寄与し、質の高いサービスを提供するために、土地、建物などの資産の有効活用や広告事業、構内営業等を展開し、長期的に安定した収入を確保する事業です。

収入
(不動産事業等・
広告事業・構内営業)
125.3 億円

関連事業収入（不動産事業等・広告事業・構内営業）の推移 (単位：億円)



不動産事業等

事業跡地や鉄道高架下などの土地を、ビル・店舗・駐車場等の用地として、また、駅出入口ビル、局隣接地との共同開発等により建設したオフィスビルなどの貸付けを行い、賃貸料収入を得ています。

このほか、通信事業者に対し、駅やトンネル内への携帯電話等のアンテナ・基地局設置スペースの提供、光ファイバーケーブルの貸付けを行い収入を得ています。

<土地> 建物敷地（オフィス・商業ビル）
店舗敷地
駐車場、駐輪場

<建物> 共同ビル（目黒セントラルスクエア、ラティス青山スクエア、東京交通会館、有楽町駅前ビル“イトシア”）
駅出入口ビル（代々木クリスタルビル）

<構築物> 光ファイバーケーブル
携帯電話、WiMAX基地局

収入 88.2 億円

(内訳)

・都営地下鉄	49.3 億円
・都営バス	34.3 億円
・東京さくらトラム (都電荒川線)	3.4 億円
・日暮里・舎人ライナー	0.9 億円
・発電	0.1 億円



東京交通会館



有楽町駅前ビル（イトシア）



目黒セントラルスクエア

広告事業

地下鉄、バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナーにおける車両や駅、停留所等を活用し、ポスターやステッカー、デジタル広告などの販売により広告料収入を得ています。

近年では、地下鉄車内液晶モニターの新設や駅構内デジタルサイネージの導入などに努めています。

(主な媒体)

- < 車両媒体 >
 - 中づりポスター
 - まど上ポスター
 - 車内液晶モニター
 - ラッピングバス
- < 駅媒体 >
 - 駅ばりポスター
 - 電飾ボード
 - 駅構内デジタルサイネージ
- < 停留所 >
 - 広告付きバス停留所

収入 27.8 億円

- (内訳)
- ・都営地下鉄 20.8 億円
 - ・都営バス 5.8 億円
 - ・東京さくらトラム (都電荒川線) 0.7 億円
 - ・日暮里・舎人ライナー 0.5 億円

* 0.1億円未満の事業は除く



車内液晶モニター



駅構内デジタルサイネージ



ラッピングバス

構内営業

駅構内に店舗や自動販売機、期間限定ショップ、金融機関ATM、宅配受取ロッカーなどの様々な施設を設けて、お客様の利便性向上を図るとともに、構内営業料収入を得ています。

- < 店舗・売店 >
 - コンビニエンスストア
 - カフェ
 - 期間限定ショップ
- < サービス機器 >
 - 飲料自動販売機
 - 金融機関ATM
 - コインロッカー
 - 宅配受取ロッカー

収入 9.3 億円

- (内訳)
- ・都営地下鉄 9.2 億円
 - ・日暮里・舎人ライナー 0.1 億円



カフェ



期間限定ショップ



飲料自動販売機



コインロッカー



宅配受取ロッカー

3 経営指標比較
比較対象団体

3 経営指標比較

交通局の経営状況について、公表数値を使用して経営指標を算出し、交通局と同じ事業を運営する他団体（都市）の平均値との比較・分析を行いました。

◆比較対象団体

事業名	団体	団体数
高速電車事業/ 都営地下鉄	札幌市 仙台市 東京都 横浜市 名古屋市 京都市 神戸市 福岡市 【民営化】 (2018年度) 大阪市	8
自動車運送事業/ 都営バス	青森市 八戸市 仙台市 東京都 三宅村 八丈町 横浜市 川崎市 伊那市 名古屋市 京都市 高槻市 神戸市 伊丹市 松江市 宇部市 徳島市 北九州市 佐賀市 長崎県 鹿児島市 沖永良部バス企業団 【民営化】 (2018年度) 大阪市 【廃止】 (2019年度) 佐世保市 【運行休止】 (2020年度) 南アルプス市	22
軌道事業/ 東京さくらトラム (都電荒川線)	函館市 東京都 熊本市 鹿児島市 【運行事業移管】 (2020年度) 札幌市	4
新交通事業/ 日暮里・舎人 ライナー ※懸垂電車事業含む	東京都 【民営化】 (2018年度) 大阪市	1
電気事業/ 発電	北海道 寿都町 岩手県 秋田県 山形県 美浦村 栃木県 群馬県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 山梨県 長野県 三重県 京都府 兵庫県 鳥取県 北栄町 島根県 岡山県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 熊本県 大分県 豊後大野市 宮崎県 【事業譲渡】 (2022年度) 金沢市	30

(注)

- 1 他団体の使用数値は、総務省「地方公営企業決算状況調査」（平成30年度～令和4年度）によります。
- 2 新交通事業の数値には懸垂電車事業の数値も含まれます。
- 3 各指標の「平均値」は上記の表の団体の平均です（団体数は2022年度の数値）。

3 経営指標比較 使用する指標

◆使用する指標

指標	算出式	単位	指標の説明
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	%	当該年度において料金収入等の営業活動から生じる収益で、人件費や燃料費、発電費等の営業費用をどの程度賄えているかを表します。100%を超える場合、単年度の営業収支が黒字であることを示します。
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	%	当該年度において料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表します。100%を超える場合、単年度の経常収支が黒字であることを示します。
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	%	短期的な債務に対する支払能力を表します。100%以上の場合、現金や1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払うべき債務を賄うことができることを示します。
累積欠損金比率	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}} \times 100$	%	事業の規模に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと。）の状況を表します。
利用者1回当たり 運行経費	$\frac{\text{経常費用}}{\text{年間輸送人員}}$	円	地下鉄やバス等の運行において、利用者1人に1回利用していただくのに費用がどれだけ掛かっているかを表します。
他会計負担 比率	$\frac{\text{(他会計補助金} + \text{他会計負担金)}}{\text{経常費用}} \times 100$	%	人件費や支払利息等の費用が一般会計等の負担によってどの程度賄われているかを表します。
企業債残高対 料金収入比率	$\frac{\text{企業債年度末残高}}{\text{料金収入}} \times 100$	%	料金収入に対する企業債（債券発行による、主に施設整備や資産取得のための借入れ）残高の割合です。
有形固定資産 減価償却率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形償却資産} + \text{帳簿原価}} \times 100$	%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表します。一般的に、数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることから、計画的な施設の更新等を検討する必要があるとされています。
走行キロ当たりの 収入	$\frac{\text{経常収益}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの収入を上げられているかを表します。
走行キロ当たりの 運送原価	$\frac{\text{経常費用}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表します。
走行キロ当たりの 人件費	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの人件費が掛かっているかを表します。
乗車効率	$\frac{\text{延人キロ}}{\text{(年間客車走行キロ} \times \text{平均乗車定員数)}} \times 100$	%	車両1台の乗車定員に対する平均輸送人員の割合であり、定員当たりでどの程度乗車しているかを表します。
供給原価 ※発電のみ	$\frac{\text{(経常費用} - \text{長期前受金戻入)}}{\text{(年間発電電力量} - \text{自家発電電力量)}}$	円	販売電力量1KWh当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表します。
設備利用率 ※発電のみ	$\frac{\text{年間発電電力量}}{\text{(最大出力} \times \text{24h} \times \text{365日)}} \times 100$	%	最大出力で1年間発電し続けた場合に得られる電力量に対する実際に発電した年間発電量の割合です。どのような発電設備も定期点検があり、設備利用率は100%にはなりません。
修繕費比率 ※発電のみ	$\frac{\text{修繕費}}{\text{(営業費用} - \text{職員給与費)}} \times 100$	%	営業費用（職員給与費を除く）のうち、施設のメンテナンス等に掛かっている費用の割合を表します。



高速電車事業 / 都営地下鉄

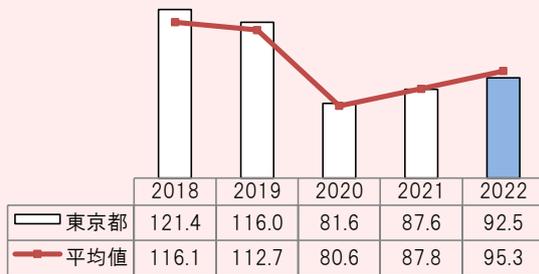
都営地下鉄は、浅草線・三田線・新宿線・大江戸線の4路線を営業し、2022年度は、一日平均約224万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は2021年度に上昇に転じたものの、100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しており、平均値よりも高くなっています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により減少しており、平均値よりも低くなっています。

営業収支比率 (%)

92.5%



経常収支比率 (%)

99.7%



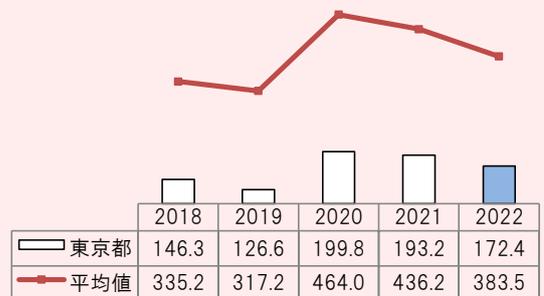
流動比率 (%)

198.5%



累積欠損金比率 (%)

172.4%



利用者1回当たり 運行経費 (円)

169.2円



他会計負担比率 (%)

1.9%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

216.6%



有形固定資産
減価償却率 (%)

51.6%

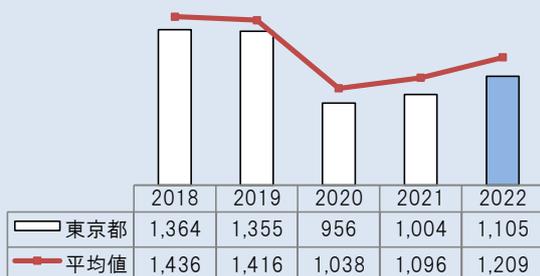


経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも低い一方で、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも低くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

走行キロ当たり
の収入 (円)

1,105円



走行キロ当たり
の運送原価 (円)

1,109円



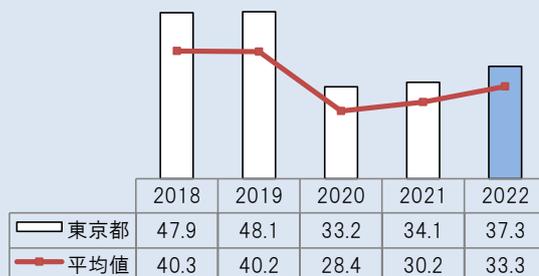
走行キロ当たり
の人件費 (円)

290円



乗車効率 (%)

37.3%





自動車運送事業 / 都営バス

都営バスは、主に東京都のJR山手線と荒川とに囲まれた地域の内側及び江戸川区の一部並びに多摩地域の一部で運行しており、2022年度は、一日平均約57万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は2021年度に上昇に転じたものの、100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しており、平均値よりも高くなっています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により2022年度に減少に転じたものの、平均値よりも高くなっています。

営業収支比率 (%)

92.3%



経常収支比率 (%)

95.8%



流動比率 (%)

124.0%



累積欠損金比率 (%)

34.4%



利用者1回当たり 運行経費 (円)

201.9円



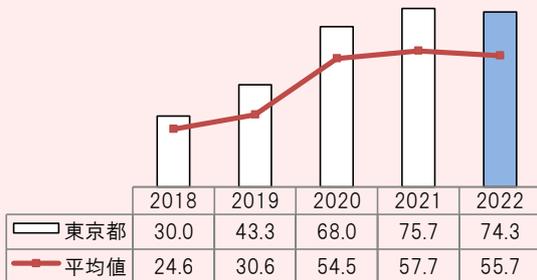
他会計負担比率 (%)

2.9%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

74.3%



有形固定資産
減価償却率 (%)

68.1%



経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも高くなっていますが、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも高くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

走行キロ当たり
の収入 (円)

1,009円



走行キロ当たり
の運送原価 (円)

1,053円



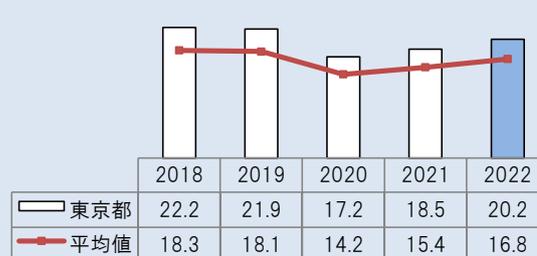
走行キロ当たり
の人件費 (円)

625円



乗車効率 (%)

20.2%





軌道事業/東京さくらトラム（都電荒川線）

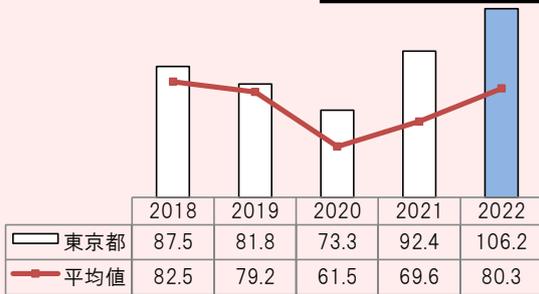
東京さくらトラム（都電荒川線）は、三ノ輪橋～早稲田間12.2kmを運行しており、2022年度は、一日平均約4.7万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は100%を上回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により減少し、平均値よりも低くなっています。

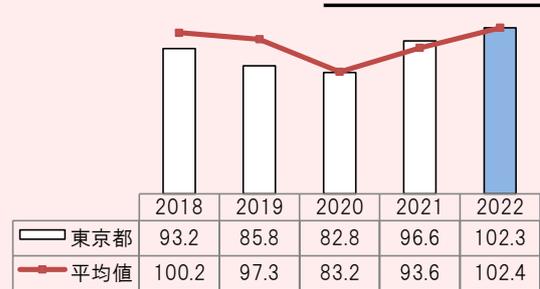
営業収支比率（%）

106.2%



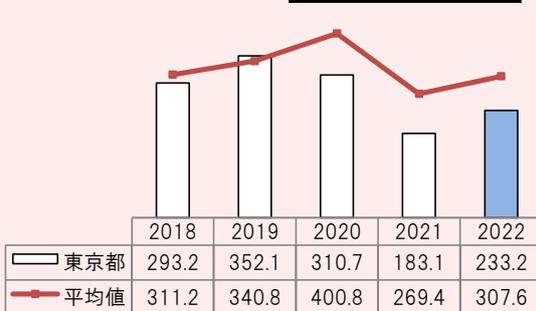
経常収支比率（%）

102.3%



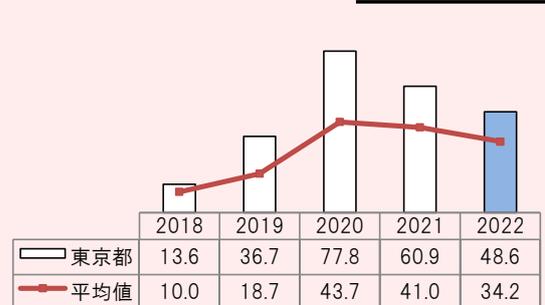
流動比率（%）

233.2%



累積欠損金比率（%）

48.6%



利用者1回当たり 運行経費（円）

401.3円



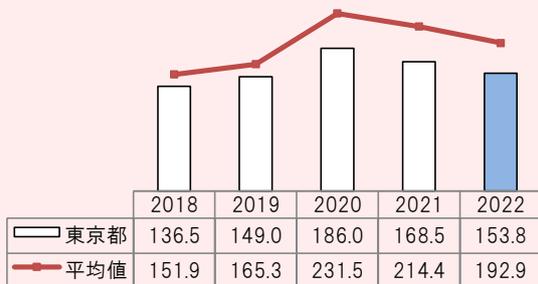
他会計負担比率（%）

0.6%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

153.8%



有形固定資産
減価償却率 (%)

77.5%



経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも高くなっていますが、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも高くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

走行キロ当たり
の収入 (円)

4,730円



走行キロ当たり
の運送原価 (円)

4,622円



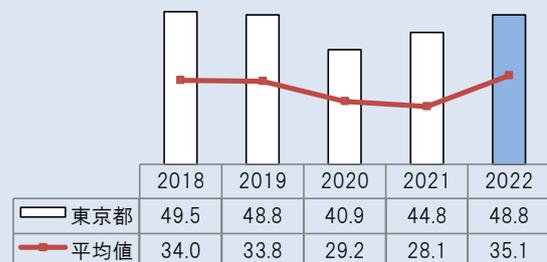
走行キロ当たり
の人件費 (円)

720円



乗車効率 (%)

48.8%





新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー

日暮里・舎人ライナーは、日暮里～見沼代親水公園間9.7kmを運行しており、2022年度は、一日平均約8.4万人のお客様にご利用いただきました。

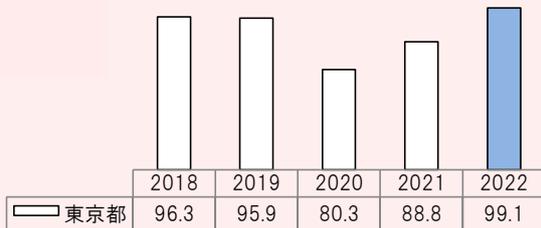
(注) 懸垂電車事業の数値は、新交通事業の指標に含む。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しています。
- 「累積欠損金比率」及び「企業債残高対料金収入比率」は都営交通のなかで最も高い水準であり、厳しい状況となっています。

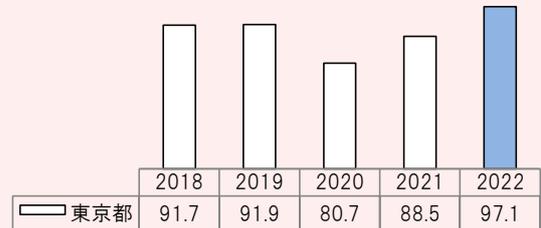
営業収支比率 (%)

99.1%



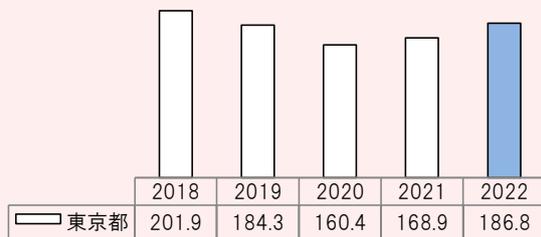
経常収支比率 (%)

97.1%



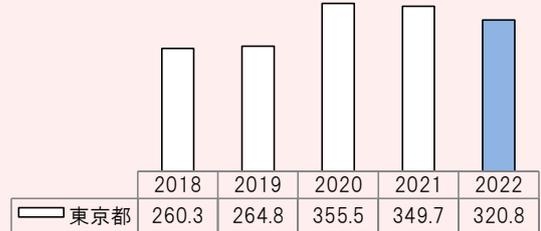
流動比率 (%)

186.8%



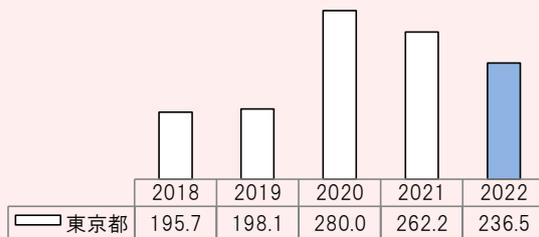
累積欠損金比率 (%)

320.8%



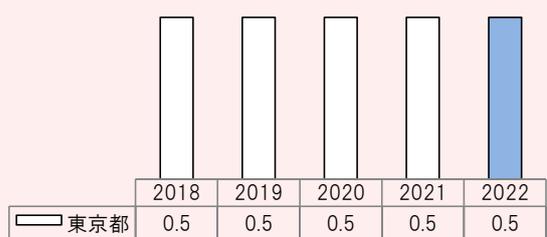
利用者1回当たり 運行経費 (円)

236.5円



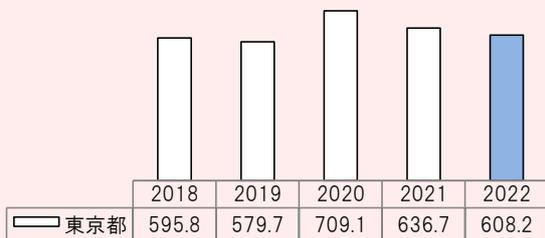
他会計負担比率 (%)

0.5%



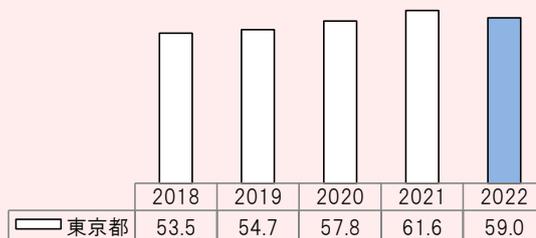
企業債残高対料金
収入比率 (%)

608.2%



有形固定資産
減価償却率 (%)

59.0%



経営の
効率性

○「乗車効率」は都営地下鉄や東京さくらトラム（都電荒川線）と同程度となっています。

走行キロ当たり
の収入 (円)

870円



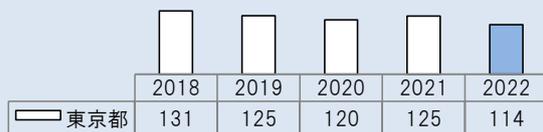
走行キロ当たり
の運送原価 (円)

896円



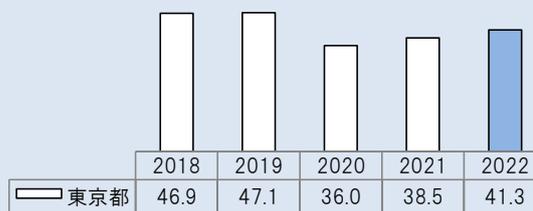
走行キロ当たり
の人件費 (円)

114円



乗車効率 (%)

41.3%





電気事業 / 発電

電気事業は1911年に始まり、現在、多摩川第一発電所、多摩川第三発電所及び白丸発電所の3か所の水力発電所を運転しています。年間発電電力量は一般家庭35,000世帯分の使用量に相当します。

経営の状況

- 「経常収支比率」は2021年度に低下したものの、100%を上回っています。
- 「流動比率」は100%を上回っており、平均値よりも高くなっています。

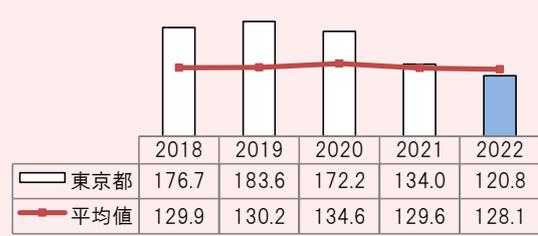
営業収支比率 (%)

117.5%



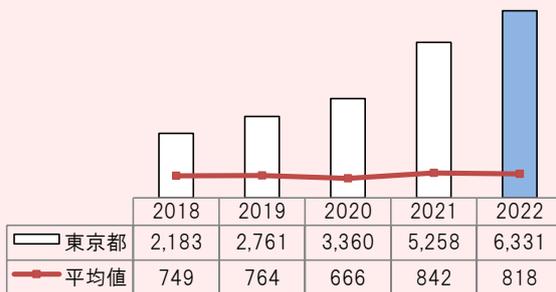
経常収支比率 (%)

120.8%



流動比率 (%)

6,331%



供給原価 (円)

8.6円

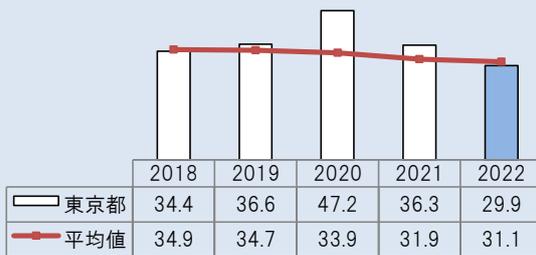


経営の
リスク

- 「設備利用率」は平均値と同程度となっています。
- 「有形固定資産減価償却率」が増加傾向にあります。
- 企業債残高はありません。

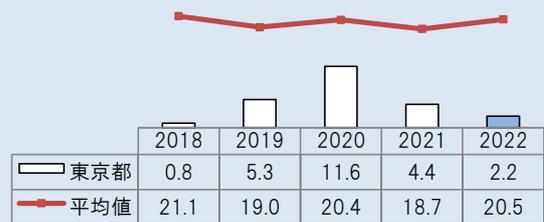
設備利用率 (%)

29.9%



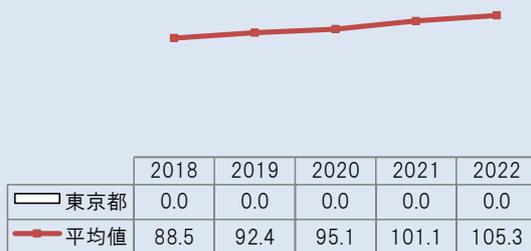
修繕費比率 (%)

2.2%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

0%



有形固定資産
減価償却率 (%)

66.6%



ホームページの情報公開ポータルでは、次の内容を紹介しています

- (1) 交通局の概要
- (2) 東京都交通局経営計画及び進捗状況
- (3) 予算
- (4) 決算
- (5) 情報公開の状況 など



東京都交通局ホームページ > 交通局について > 情報公開ポータル
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/>

このレポートに対するご意見・ご要望をお寄せください

お寄せいただいたご意見・ご要望を参考とさせていただき、より分かりやすい経営情報の発信に努めます。

ご意見・ご要望などは、交通局ホームページの「ご意見・ご要望」のページをご利用ください。

東京都交通局ホームページ > お問い合わせ > ご意見・ご要望
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/opinion/>



都営交通お客様センター

都営交通に関するお問い合わせ全般を承っております。

午前9時～午後8時〔年中無休〕

電話番号 03-3816-5700

※自動音声ガイダンスに従って、下記の3つのうちからご希望のお問い合わせ内容にあわせて番号をお選びください。

1番：運賃・時刻・ルートなどのお問い合わせ

2番：お忘れ物などのお問い合わせ

3番：その他、ご意見・ご要望など

お客様からの声についても、情報公開しております。

<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/customer.html>



東京都交通局2024経営レポート

令和7年1月発行

編集・発行

東京都交通局

総務部 財務課

所在地 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03-5321-1111 (代表)

